



丘の上だより

目次

P.2 「礼拝へのご案内」

P.3 「子ども向けの集会」

P.4 「チャペルコンサート

ネット配信のお知らせ」

「神よ 私のためしいはあなたを慕いあえぎます」

牧師 ^{たかみち}野村天路

神がいるのなら、なぜ？

最近、毎年のように十年に一度と言われるような豪雨が各地を襲い、痛ましい災害が発生しています。また、2020年からは新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、多くの人々が苦しめられ、先の見通せない状況が続いています。他にも痛

ましい事故や事件が毎日のように報道されています。このような現実を考えると、「神がいるのなら、なぜこのような痛ましいことがあるのか」と思うことがあるかもしれません。さらに、自分の身近なところで事件や事故が起きたときには、「こんなひどいことがあるなら神などいるもの

か」と思うことさえあるかもしれません。

神に対する隠れた希望や期待

「神がいるのなら、なぜこのような痛ましいことがあるのか」。このような言葉には、悲惨な現実に対する怒りや落胆が表されています。それだけでなく、このような思いの背後には、何らかの期待や希望も隠れていることができます。

なぜ、私たちは、悲惨な出来事に直面して失望したり落胆したりするのでしょうか。それは、私たちが物事の本来あるべき良い姿を期待し、望んでいるからではないでしょうか。良いことを期待しているからこそ、それとは全く異なる悲惨な現実と直面したときに落胆してしまうのです。しかし、もし、初めから何も希望や期待を持っていなければ、失望し落胆することはありません。

「神などいるものか」という落胆の背後にも、神に対する希望や期待が隠れていることができます。神について、何らかの希望や期待があるからこそ、それが裏切られたときに失望し、落胆するのです。私たちは、無意識のうちに神に対して何ら



【前ページからの続き】

かの良い希望や期待を持っているのではないのでしょうか。

失望に終わることのない希望

痛ましい事故や事件、あるいは災害などの悲惨な現実と直面するとき、私たちは希望を失い絶望しそうになります。そのような状況でも、もし、

私たちがすべてのものを造り、すべてを支配している神がおられ、その神が私たちを愛しておられるということに確信をもつことができたなら、どうでしょうか。まことの神がおられ、その神が私たちの味方でいてくださるといことほど心強いことはありません。神に対する希望こそ、失

望に終わることがない希望なのです。本当の神がどのようなお方なのか、その神が私たちを愛しておられるということは、聖書を通して知ることができます。どうぞ教会にお越しください。まことの神を知ることによる希望をともに求めてまいりましょう。

礼拝へのご案内

日曜日 11:00~12:10



礼拝は教会の最も中心的な働きです。礼拝とは神との会見です。まことの神は目に見えませんが、言葉で神と語り合います。具体的には、聖書の朗読と説教を通して神が語り、私たちは祈り、賛美によって神に応答して、神を礼拝しています。

聖書や讃美歌集は、教会に備え付けのものをご利用いただけます。教会が初めての方も、司会者の指示を聞いていただければ、特に迷うことはありません。参加者の所作は起立・着席以外の特別なものはなく、予備知識は何もありません。起立がご無理の方は、礼拝中ずっと着席のままでも結構です。

礼拝においでになるのに予約は不要です。お分かりにならないことは何でも、受付の者にお訊ねください。

*****少し早いですが、クリスマスの予定をお知らせします*****



クリスマス イブ礼拝
12月24日(土)19:30~20:30

クリスマス 礼拝
12月25日(日)10:30~11:40

表紙の絵「光」

この絵を見て旧約聖書の「鹿が谷川の流れを慕いあえぐように 神よ 私のたましいはあなたを慕いあえぎます。」という詩篇の箇所を思い出します。

鹿は大樹の下で梢を仰いでいますが、実は、枝葉の間から差し込む光を求めているのだと、すぐに気付きます。「神は光であり、神には闇が全くない…」と聖書にあります。人の心の渇き、魂の渇きを、水を求める鹿で表した詩篇作者のように、この絵は、光を仰ぐ鹿を通して、神を慕い求める心を表しているのでしょうか。



子ども向けの集会

小学生対象

毎月第3土曜日

14:00～15:00

※今年度は不定期で開催します。

ホサナキッズ
クラブ



次回は10月15日、
クリスマス会は12月17日に開催予定です。



わかりやすい聖書のお話と賛美、アイロンビーズやプラ板を使った工作など、十分な感染対策のもと、楽しい企画を用意しています。
(感染対策については教会ホームページをご参照ください)
保護者の方もご一緒に見学していただけますので、お気軽にご参加ください。

毎月第1・3火曜日 10:30～12:00

ホサナ
エンゼルクラブ



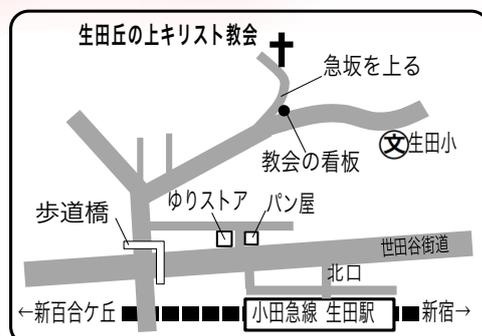
0才から未就園児とお母さんのための集いです。

聖書のお話と賛美歌、おやつなど。見学も大歓迎です。

参加ご希望の方は、教会にお問い合わせください。

* 川崎市の子育て情報 Book 「多摩区内の親子ひろば・子育てサロン」にも紹介されています。

生田駅から徒歩8分



当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、モルモン教(末日聖徒イエス・キリスト教会)、旧・統一協会(原理・世界平和統一家庭連合等の偽装諸団体)とは全く関係がありません。

チャペルコンサートの無料ネット配信のお知らせ

CHAPEL CONCERT



2022年11月26日(土)より、教会のホームページから視聴できます。

クリスチャンのジャズ演奏家スティーブ・サックスさんの演奏とトークです。
牧師による聖書のお話もあります。

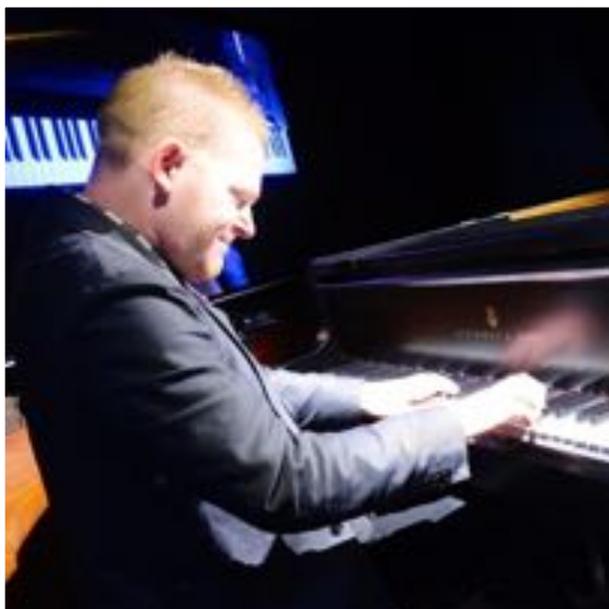
演奏曲・Autumn Leaves(枯葉)・Amazing Grace(驚くばかりの)・Caravan(キャラバン) 他

Steve Sacks (スティーブ・サックス) アルトサックス

ジャズのサックスとフルート・プレイヤー、またハーバード大卒業音楽理論学者としてスタート。20年に及んでニューヨークのラテン音楽とジャズシーンで演奏家、アレンジャー、プロデューサーとして活躍して来た。

さらに40カ国以上で演奏。5カ国語流暢。共に演奏や録音したアーティストには、小野リサ、ティト・プエンテ、デューク・エリントン・オーケストラ、アール・クルー、パキト・デリヴェラ、マリーン、熱帯ジャズ楽団、トーキング・ヘッズ、香港交響楽団などがある。またラテン・ジャズのリーダーバンド Mambo Inn で全国で演奏し、CDを3枚リリースした。

更に3枚のソロCD「First Dream:初夢」「Look To The Sky」「Christmas Presence」がある。



Simon Cosgrove (サイモン・コスグローブ) ピアノ

1982年イギリス生まれ。幼い頃からピアノとサックスを始め、17歳の時BBCの音楽コンクールで受賞。2000年ケンブリッジ大学に入学、音楽を専攻し首席で卒業後、2004年より日本でプロジャズミュージシャンとして活動している。「釣りバカ日誌 16」にミュージシャン役として出演。東京で Duke Ellington Orchestra や Jamie Cullum との共演を果たし、2010年1月にリーダーとして初レコーディングデビューした。2011年より六本木ヒルズの Maduro ラウンジのハウスピアニストとして演奏している。2012年11月にインドのジャズフェスティバルに出演。2013年12月に2ndアルバムをリリースし、2014年にオーストラリアのジャズフェスティバルのメインステージで出演。2015年に Tokyo Jazz Seven のリーダーとして3rdアルバム「Open all hours」をリリース

した。2015年に前田憲男とエリックミヤシロのビッグバンドでテレビ朝日「題名のない音楽会」に出演し、2017年より松田聖子 SEIKO JAZZ のピアニストとして活動中。2017年より女子美術大学で助教として音楽を教える。